

～思春期の子をもつ親の悩みはつきぬもの～

★ 学力を考える



【6年生と生徒会の朝掃除】

秋の深まりを感じる頃になりました。勉強・スポーツ・芸術・読書の秋と言われます。こうやって、校舎内の音に耳を澄ませると、子どもたちの元気なあいさつの声、合唱曲を練習する歌声が聞こえてきます。学校ならではの清々しい秋の音です。

この時期の授業中の様子に耳を澄ませるのは楽しいものです。

10月は、各学年の行事に充実感（忙しさ？）を感じる月でした。今週からは、3年生の三者面談、1・2年生の教育相談が始まります。学力と進路の関係をあらためて感じるようになります。自分を知り、自分の将来を考え、生きる力を蓄えなくてはなりません。

- 1 年—市学力調査
- 2 年—県学力調査
- 3 年—全国学力調査

4月に調査が実施されました。3年生は学力だけでなく、生活や学習の状況の調査もありました。その結果を9月の学年懇談会の折にお話ししています。

【結果から】

- ◎毎年行われる結果を見ていくと、中学校全体の学力は伸びてきている。市・県の平均を超えてきた！
- 国語「書くこと」～授業・週末課題の成果が大きい。「根拠を明確にして書く」指導により、全国平均を大きく上回る！
- 数学「数学的な技能・関数」において全国平均を上回った。徹底したドリル学習の成果であると考察できる。（今年度も継続）
- 英語「聞くこと」領域において、話せる英語授業により、日常的な英語や教室英語の聞き取りがよくできている。
- ▲国語では、語い力の不足と「自分の考えをもつ」ことの課題が見られた。
- ▲英語では、文を正確に表現すること、自分の考えをまとまりのある英文で書くことが苦手である。
- ▲1年国語では、全体的な国語力が低い。読む・書くことの日常化が必要である。

×家庭学習の時間が、メディアの時間より少ない。毎日しているのだが。

学習をすること

人はいつまで学ぶのか。
何を学ぶのか。
何のために学ぶのか。

とても難しい問題です。人によって
答えが違ってくるのでしょうか。

さて、お子さんが上のような質問をしたら、どう答えますか？近い目標を考えれば、進学や就職に関する答えが出てくるでしょう。これからの長い人生を考えれば、『よりよく生きるため・豊かに生きるため』と答えるのでしょうか。

人として、豊かな心と言葉をもって、人生を過ごしてもらいたい。大人は、人生経験から子どもたちに求めます。

今回、2年生が職場体験学習で、17の事業所にお世話になりました。そのあとの学習で、子どもたちは『働くとは』と考えました。

- ①人生を豊かにすること ②人とつながる(コミュニケーション)こと
③社会の役に立つこと ④自分の役割をもつこと・夢を叶えること

こう答えた生徒がいます。なんと深い考えをもっていることでしょう。こう答えを出すことができた生徒を素晴らしいと思いました。そして、その答えを出す指導・支援をしてくださった事業所の皆さんの関わり方を素晴らしいと感じました。事後学習として先生も学びを深めさせました。

この答えを知ったとき、学ぶことも同じ意義をもつのではないかと考えました。

3年生にとって、卒業まであと5ヶ月となりました。進路選択の時が迫ってきます。学力は、自分の人生を豊かにするひとつの力です。知識だけではない、思考し、判断し、表現する。真の学力を全教科で身につけてほしい。その力は、きっと子どもたちのたくましさにつながると考えます。

現代の子どもは、自分に自信がありません。学力が低いとその割合は高いと言われます。学力だけではない、自分らしさを求めて、学習・生活・スポーツや芸術、そういったあらゆる場面で、子どもたちの自分ができることを増やして自信をつけていってほしい。

『本物の力』を見せる・教える。それが大人のつとめです。明るい未来へと飛び立つ子どもたちの力を伸ばす。学校が力を注いでいることです。



1年生 イングリッシュキャンプ